

# 役員の IT 活用度調査アンケートの結果分析

2021/6/12 IT 推進委

## 1 アンケート実施状況

### 1.1 実施内容

「役員の IT 活用度調査」ということで、役員会メール受信者に対してアンケートを実施。

実施期間：令和 3 年 5 月 16 日～5 月 31 日

### 1.2 回答数

40 人。メールで案内した 34 人中 32 人が回答。

日限山地区以外の方は 1 人しかいなく、ログイン制限なしでも有効情報が得られることが判明

### 1.3 世代別

60 代以上：63%、40～50 代：26%、30 代以下：11%

日限山の分譲時期を考えると、60 代以上が多いのはやむを得ないが、若者の回答を増やして、若い人の声を反映できるようにするのが今後の課題。

### 1.4 回答時期

最初の 3 日：19 人/40 人(回答者)(48%)、最後の 3 日間：12 人(30%)、その間の 10 日間：9 人(22%)

最初と最後の各 3 日間に集中していて、全体期間の長さは関係なさそう。

## 2 IT 機器使用状況

### 2.1 スマホ所有者

回答者全員がスマホを保有し、9 割の人が PC を持っていてインターネットアクセス可。

しかし PC で毎日メールチェックしている人は半数で、操作性の違いや操作方法が分からない人が多く、メールの設定を自分でできる人も 6 割しかいないのが現実。

## 3 自治会メールの使用状況

### 3.1 自治会メール使用状況

自治会メールアドレスは、職名で分かりやすく、個人アドレスを出す必要がないことから好評ではあるが、半数の人が自動転送される個人アドレスでメールを受信しており、web メール の 操作 方法 に 関する不安が多く、今後の講習会等の対策が必要。

### 3.2 LINE 使用状況

LINE は全員が利用していて、自治会メールの LINE への変更や LINE への自動転送を期待する人は 3 割を超えるが、一方で LINE はプライベート用とか情報漏洩とかの不安があり、メールが良いとする意見も同程度あり、意見が分かれている。

最近のテレワークの進展で、LINE に代わる法人用チャットサービスも急増しているが、正しく理解している人が少なく、判断を決められない状況にある。今後の説明強化が必要。

## 4 緊急時の連絡方法

### 4.1 緊急時の対応

緊急事態発生時の家族との連絡は殆どが携帯電話で行っているため、行政に対しては迅速な情報提供を求める希望が半分を越えるが、同時に安否確認等の支援を求める声も3割程度いる。しかし安否確認が難しい人も数%いるので、支援方法については詳細な検討が必要である。

## 5 全体的な記述式回答

### 5.1 自治会のIT推進について

IT化の推進に反対する人は皆無であるが、ITに不慣れな人への支援策の要望が多い。

### 5.2 高齢者向けのサービス・要望

IT機器の操作に関する講習会等の要望が多い

### 5.3 若い人向けのサービス・要望

小規模なゲーム大会・イベントの希望が多い。またホームページに若い人向けのコラムを設けたり、下記のようなイベント案内を掲載したりする等の要望もあった。

- ・クラブチームの部員募集や、地域でのスポーツイベントの開催案内
- ・図書館の貸出等気軽に集まれる場所の提供
- ・自治会の1階だけで出来る小規模なゲーム・トランプ大会等を開催し、自治会館に来てもらう一方で、自治会の役員負担が大きいという意見も多く、具体的な対策が望まれている状況にある。

以上